



2020年度 山県市教育センター要覧

今こそ、「チーム学校・チーム山県」でこの難局を乗り切る

山県市教育センター 所長 日置 智夫

新型コロナウイルス感染症の拡大により、ここ数ヶ月小中学校は臨時休業となっています。私たち学校の教職員だけではなく、世の中の全ての人々がこれまで経験したことのない危機感を感じ、どうすればこの状況を乗り切れるかを模索しています。多分、我々の祖先は、今までに幾度となくこのような難局に直面し、人間の知恵を結集して乗り越えてきたと考えます。今回の新型コロナウイルス感染症も、この知恵によって必ず乗り越えることができるはずです。それだけ人間の知恵というのは偉大であると確信しています。

① 学校の再開に向けて

昨年度の3月より、全ての学校が臨時休業中の児童生徒の生活や学習について、様々な支援を行っています。それは、家庭訪問や電話連絡、そして授業動画の配信や学習プリントの配付などです。まだまだ、この状況は続いています。学校再開時に全児童生徒が「やっぱり学校は楽しい。」と笑顔で言えるように、児童生徒との関係を途切れさせず、学校組織全体で様々な支援の工夫をしてください。

② 今こそ働き方改革について考える

この難局により、学校に関わる行事や研修などが簡略化されたり、中止や延期されたりしました。また、必要な会議はテレビ会議システムで行っています。1年前では考えられなかったことです。このことから、今は本当に必要な行事や会議、研修は何か、不要なものは何かを再検討する機会でもあります。「今まで行っていたから今年もやる」ではなく、「児童生徒のため」を第一に考えた積極的な改革を考えてください。

③ 教職員全員が大切にしたいこと

全ての学校で学校再開時には、これまでの学習の遅れをどうするか、さらには、感染防止のための対応をどうするかという課題があります。市教委からは、対応についての指針的なものは発出しますが、実行するのは各学校です。校種や学校規模、地域性の違いにより、簡単にできることと困難なことが学校によって違うことが考えられます。しかし、どの学校でも共通なことは「子どもの命を守りきる」ことです。私たちは、職場や立場の違いはありますが、このことは誰もが共通です。山県市立学校に在籍する全ての教職員が、自らの勤務の根本にしてください。

学習指導要領に込められた願いの一つに「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し幸せを実現してほしい」とあります。子どもたちにこうした力を付けるためには、まず私たち教職員がそうであらねばなりません。

「いじめ、不登校等、長年学校が抱え続ける課題解決へのアプローチ」

「10年先から今を見た教育の役割へのアプローチ」

>0>.>0>. ° Ø M*ñ - å ± î!

ý 2

>:/ ö •%Ê ÿ><

	i &à	Æ	P 1ß	‡ ¥
			fl L	
				* # ' S % S # & S
) # % & % S # %-
) # % & # % S
				* # + #
				* #) % % # *
) # & S % S # &
				% S # & , ' # % %
) # %- & # % *
% S) # & % & #

